

- 問1 2万5千分の1地形図と実際の景観写真を照合して撮影地点や視界の方向を特定する際、地形図から読み取るべき「情報の因果関係」についての説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 地図記号の「学校」や「寺院」は建物が非常に大きいことを意味するため、写真の中で最も大きく写っている建物をこれらの記号に断定する。 | 2. 地形図上の1cmは実際の1kmに相当するため、写真に写る建物が小さく見える場合は地図上で10cm以上離れた地点であると判断する。 | 3. 等高線の間隔が広い場所は平坦な地形であることを示すため、高い建物や遮蔽物がなければ遠くの景観まで見通せると判断する。 | 4. 集落を示す建物の記号が密集している場所は、必ず写真では高層ビル群として写るため、都市部の土地利用として分類する。 |
|---|---|---|---|
- 問2 山梨県の笛吹川流域などに見られる扇状地では、古くからブドウやモモなどの果樹園が多く見られる。このように扇状地が果樹栽培に広く利用される理由として、地形の特性から説明したものととして適切なものを選びなさい。（2020年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 砂や礫が堆積しており水はけが良いため、果樹栽培に適している。 | 2. 標高が非常に高く、冷涼な気候を好む果樹の栽培に適している。 | 3. 地形が完全に平坦であり、機械による大規模な果樹管理が容易なため。 | 4. 土壌が常に湿っており水分が豊富なため、果樹が育ちやすい。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
- 問3 防災学習の一環として、平和公園や長崎大学付近の地形図を用いて津波避難計画を検討します。地形図から避難場所や避難経路を特定する際、標高を確認するための「等高線」の見方について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 等高線の数値は、その地点の干潮時の海面からの高さを示しており、マイナスの数値で示される地点は存在しない。 | 2. 等高線が海の方に向かって張り出すように曲がっている部分は「尾根」を表しており、周囲より標高が低くなっている。 | 3. 等高線とは、海面からの高さが等しい地点を結んだ線であり、2万5千分の1の地形図では10mごとに主曲線が引かれている。 | 4. 等高線が山頂に向かって凸状に曲がっている部分は「谷」を表しており、大雨の際の避難経路として最も安全である。 |
|---|---|---|--|
- 問4 ハザードマップの作成目的や特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 過去の災害の回数を集計することではなく、地形条件などから予測される被害の範囲を示すことで、事前の備えを促すものである。 | 2. 観光客が避難場所を把握することだけを目的としており、居住者の利用や土地の成り立ちに関する情報は含まれない。 | 3. 過去に発生したすべての災害地点を記録したものであり、将来の被害を予測する機能は持っていない。 | 4. 都道府県や国などの広域な情報を一枚にまとめるため、主に五万分の一の地形図がそのままの形式で配布される。 |
|--|--|---|--|
- 問5 新潟県の上越市周辺など、日本海側の地域で冬に降水量（積雪量）が多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 親潮（千島海流）の影響で冷やされた空気が、内陸部に流れ込んで霧を発生させるため。 | 2. 太平洋からの湿った季節風が、奥羽山脈や越後山脈などの高い山々に遮られるため。 | 3. 冬は日照時間が短く、放射冷却によって地表の熱が奪われ、空気が急激に冷やされるため。 | 4. シベリア方面からの冷たい季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため。 |
|---|---|--|---|
- 問6 インターネットなどの情報通信技術（ICT）を利用して恩恵を受けられる人と、利用できずに機会を失う人との間に生じる、経済的・社会的な格差を何といえますか。（2023年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|-------------|------------|------------|
| 1. デジタルトランスフォーメーション | 2. デジタルデバイド | 3. コピキタス社会 | 4. 情報リテラシー |
|---------------------|-------------|------------|------------|
- 問7 日本の多くの県庁所在地は、河川の河口部に形成された平坦な土地に位置しています。この地形の成り立ちや特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 火山の噴火によって噴出物が周囲に積み重なり、中央部が大きくくぼんで形成された土地である。 | 2. 河川の浸食作用や土地の隆起によって形成された、周囲よりも一段高くなっている平坦な土地である。 | 3. 川が海や湖に流れ込む場所に細かな土砂が積み重なってできた、標高が低く水はけの悪い土地である。 | 4. 川が山地から平地に出る場所に大きな岩石や砂が積み重なってできた、緩やかな傾斜のある土地である。 |
|---|---|---|--|
- 問8 夏の東北地方において、太平洋側の海から陸地に向かって吹き込む、冷たく湿った北東方向の風を何と呼びますか。（2024年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------------|---------|
| 1. やませ | 2. フェーン | 3. 季節風（モンスーン） | 4. からっ風 |
|--------|---------|---------------|---------|
- 問9 扇状地の中央部において、水田としての利用が少なく、果樹園としての利用が盛んである理由を、土壌の性質の観点から説明したものととして最も適切なものを選択してください。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| 1. 細かい泥や粘土が厚く堆積しており、地表の保水力が非常に高いため。 | 2. 火山灰が積み重なった土壌であり、酸性が強すぎて米の栽培に適さないため。 | 3. 堆積した砂やれきの層により水が地下に浸透しやすく、表面の水はけがよいため。 | 4. 標高が周囲よりも低く、大雨の際に水が溜まりやすい湿地帯であるため。 |
|-------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
- 問10 大阪府周辺に見られる「瀬戸内の気候」の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。なお、比較対象として、日本海側では冬の降水量が多く、太平洋側では夏の降水量が400mmを超える月があるものとします。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 夏季の降水量が非常に多く、台風や季節風の影響で一ヶ月の降水量が400mmを超えることがある。 | 2. 一年を通じて気温の変化が非常に激しく、冬の気温は常に氷点下を下回る。 | 3. 1月や12月といった冬季に降水量が急増し、季節風の影響で雪が多く降る。 | 4. 年間を通じて温暖であり、各月の降水量は概ね100mmから200mm程度で、他の地域に比べて雨が少ない。 |
|---|---------------------------------------|--|--|
- 問11 東北地方の太平洋側で発生する「冷害」のメカニズムについて、風の向きと気圧配置の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 夏にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風 | 2. 初夏に移動性高気圧がもたらす、乾燥した西寄りの風 | 3. 夏に小笠原高気圧から吹き込む、高温で湿った南東の季節風 | 4. 冬にシベリア高気圧から吹き込む、冷たく乾燥した北西の季節風 |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問12 日本の自然環境を活かした発電方法の一つに地熱発電があります。この発電方法が持つ特徴と、普及している背景についての説明として正しいものはどれですか。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 噴火によって形成されたカルデラ湖の急激な標高差を利用して水を落とすことで、短時間に大量の電力を供給できる。 | 2. マグマの熱による蒸気を利用して発電するため、天候に左右されず安定した電力供給が可能であり、二酸化炭素の排出も抑制できる。 | 3. 火山灰が降り積もった広大な土地を再利用するために開発された手法であり、主に九州地方や東北地方の平野部で盛んに行われている。 | 4. 季節風の影響を強く受ける火山の斜面に設置された風車を回転させて発電するため、冬の日本海側を中心に導入が進んでいる。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 等高線の間隔が広い場所は平坦な地形であることを示すため、高い建物や遮蔽物がなければ遠くの景観まで見通せると判断する。	地形図から実際の景観を推測する場合、等高線の密度から地形の起伏を把握することが不可欠です。等高線の間隔が広い平地では視界が遮られにくく、遠方にある高速道路や集落、特徴的な公共施設などの位置関係を把握しやすくなります。一方、2万5千分の1地形図の縮尺では1cmは実際には250mであり、記号の大きさは建物の重要度（種類）を示すものであって、実際の面積や高さを直接反映しているわけではない点に注意が必要です。
問2	答え 1 砂や礫が堆積しており水はけが良いため、果樹栽培に適している。	扇状地は粒の大きい砂や礫が堆積してできているため、水が地下に浸透しやすく、地表の水はけが良いという特徴があります。このため、水を多く必要とする水田には不向きであり、水はけの良い土地を好む果樹の栽培が盛んに行われてきました。
問3	答え 3 等高線とは、海面からの高さが等しい地点を結んだ線であり、2万5千分の1の地形図では10mごとに主曲線が引かれています。	等高線は標高（平均海面からの高さ）の等しい地点を結んだ線です。日本の2万5千分の1地形図では、10mごとに主曲線、50mごとに太い計曲線が引かれています。地形図を防災に役立てるには、等高線から凹凸を読み取ることが不可欠です。なお、山頂に向かって凸状の箇所は「谷」ですが、土砂災害や増水の危険があるため避難経路としては不適切です。また、等高線が低い方へ張り出している部分は「尾根」と呼ばれ、周囲より標高が高くなっています。
問4	答え 1 過去の災害の回数を集計することではなく、地形条件などから予測される被害の範囲を示すことで、事前の備えを促すものである。	ハザードマップの重要な役割は、過去の履歴を確認するだけでなく、地形や地質、標高などのデータに基づき、将来起こりうる「予測される被害の範囲」を可視化することにあります。これにより、住民は自分の住む場所のリスクを認識し、適切な避難行動を計画することが可能になります。
問5	答え 4 シベリア方面からの冷たい季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため。	大陸（シベリア気団）から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風が、暖流（対馬海流）が流れる日本海の上を通過する際に大量の水蒸気を含んで雲が発生します。この湿った風が日本列島の中央を走る山脈にぶつかることで、日本海側の地域に大雪や雨をもたらします。太平洋からの季節風は夏の特徴であり、放射冷却は内陸部の冷え込み、親潮の影響は夏の東北地方太平洋側の冷害などに関連します。
問6	答え 2 デジタルデバイド	英語で「情報の隔たり」を意味する言葉で、パソコンやスマートフォンの所有状況、あるいは操作スキルの有無によって、得られる情報の量や質に差が出ることを指します。近年、行政サービスのオンライン化が進む中で、この格差を埋めることが重要な社会課題となっています。
問7	答え 3 川が海や湖に流れ込む場所に細かな土砂が積み重なってできた、標高が低く水はけの悪い土地である。	三角州は河口付近に土砂が堆積してできるため、非常に平坦で標高が低いのが特徴です。このため、古くから水田として利用される一方で、大雨による洪水や地震時の液状化、高潮などの自然災害の影響を受けやすいという側面も持っています。他の選択肢は、順に扇状地、台地、カルデラの説明です。
問8	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この現象は、初夏の爽やかな気候とは対照的に、どんよりとした曇り空や霧をもたらし、気温が上がらない原因となります。群馬県などで冬に吹く乾燥した「からっ風」とは、季節や湿度の面では対照的な特徴を持ちます。
問9	答え 3 堆積した砂やれきの層により水が地下に浸透しやすく、表面の水はけがよいため。	扇状地の中央部（扇央）は、上流から運ばれてきた粒の大きい砂やれき（砂利）が堆積してできています。このため、雨水や川の水が地表に留まらずに地下へ抜けていく性質を持っており、乾燥を好む、あるいは水はけのよい環境を必要とする果樹の栽培に適しています。一方、水を溜める必要がある水田には適さないため、古くから土地の特性に応じた利用がなされてきました。
問10	答え 4 年間を通じて温暖であり、各月の降水量は概ね100mmから200mm程度で、他の地域に比べて雨が少ない。	瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、季節風の影響を受けにくいのが特徴です。そのため、年間を通じて温暖で、降水量が他の地域に比べて少なく、乾燥した晴天の日が多くなります。冬に降水量が多いのは日本海側の気候、夏に極端に降水量が多いのは太平洋側の気候の特徴です。
問11	答え 1 夏にオホーツク海高気圧から吹き込む、冷たく湿った北東の風	冷害の原因となる「やませ」は、北のオホーツク海高気圧から吹き出す北東の風です。この風は冷たく湿っているため、奥羽山脈よりも東側の太平洋側に低い雲を広げ、気温の上昇を妨げます。小笠原高気圧から吹く風は本来の日本の夏の暑さをもたらすものであり、シベリア高気圧は冬の気候に関係するものです。
問12	答え 2 マグマの熱による蒸気を利用して発電するため、天候に左右されず安定した電力供給が可能であり、二酸化炭素の排出も抑制できる。	地熱発電は、火山地帯の地下深くにある高温の蒸気や熱水を取り出してタービンを回す発電方式です。太陽光発電や風力発電とは異なり、昼夜や天候を問わず安定して発電できる点が大きな利点です。日本は世界有数の火山国であるため、潜在的なエネルギー源として期待されており、地球温暖化対策の観点からも重要視されています。